

# 2024 年度(令和 6 年度)事業報告書

2024 年(令和 6 年)4 月 1 日～2025 年(令和 7 年)3 月 31 日

公益社団法人日本フィランソロピー協会

## 目 次

＜事業報告＞	頁
I 社会貢献啓発事業(公益目的事業 1)	1
1 機関誌の発行事業	1
2 インターネットを利用した情報提供事業	1
3 アンケート調査事業	1
II 社会貢献促進事業(公益目的事業 2)	2
1 研修事業	2
(1) 定例セミナー	2
(2) 「ビジネスと人権」研究会	3
(3) 業界別研修会	4
2 顕彰事業(企業フィランソロピー大賞)	5
3 個人寄付普及事業	5
(1) 企業の従業員および顧客参画寄付事業	5
(2) 個人の寄付推進事業	6
4 フィランソロピー社会基盤整備事業	7
(1) 個別企業社会貢献推進事業	7
A 従業員ボランティア支援事業	7
B 助成支援事業	9
C 社会貢献活動支援事業	9
D 物品寄贈「あげます・もらいます」事業	10
(2) 被災地復興支援事業	11
A サントリー・チャレンジド・アスリート	11
B みらいチャレンジプログラム	11
C シンみらいチャレンジプログラム	11
(3) 農福連携事業(休眠預金活用事業)	11
III 共生社会創造事業(公益目的事業 3)	12
1 共生社会づくり推進事業	12
2 次世代育成事業	12
＜法人管理＞	13
IV 会員 他	13

## <事業報告>

### I. 社会貢献啓発事業（公益目的事業1）

#### 1. 機関誌の発行事業

当協会の活動報告とともに、社会の課題を抽出し特集として企画・編集している。

2024年度の実績は以下の通り。

2024年度	特 集
No.278（4月号）	ビジネスと人権
No.279（6月号）	農福連携でエコシステム社会を目指す
No.280（8月号）	ワインが醸すフィランソロピー
No.281（10月号）	本のチカラ
No.282（12月号）	民主主義の危機と「ローカルメディア」の役割
No.283（2月号）	未来を拓く理念経営

#### 2. インターネットを利用した情報提供事業

当協会の活動をはじめ、企業の社会貢献・CSR情報の提供、NPO・NGO団体の活動最新情報を発信

- (1) メールマガジン（毎月1日・15日配信 配信数約6,000件）
- (2) 当協会WEBサイト情報更新
- (3) (1)(2)を補完する情報発信源として、SNS(Facebook、X、Instagram)を利用。協会をより身近に感じてもらう事の出来るトピックを選び職員全員で情報を掲載。  
<https://www.facebook.com/philanthropy.or.jp>  
<https://twitter.com/JPNphilanthropyFacebook>  
[https://www.instagram.com/birthday\\_donation/](https://www.instagram.com/birthday_donation/) ※「誕生日寄付」専用
- (4) データベース構築  
企業の社会貢献活動やNPOの情報等を収集して整理し、データベースとして利用可能とする。なかでも広く周知して活用されるべき情報についてWEBサイトで公開するため、「JPA企業活動データベース」に2024年2月より次世代育成事業を掲載。紹介事例47件。

#### 3. アンケート・調査事業

タイトル	内 容	回答企業数
CSR・社会貢献における社員参画の推進に関するアンケート調査	企業のCSR・社会貢献における社員参画の推進のため、企業で行われている取り組みについて、マッチングギフト制度を中心に情報収集・分析を行ない各社と共有する。それによりマッチングギフトを通じた従業員の社会参画の促進を図る目的。 調査期間 :2024年5月～6月 依頼対象企業:720社 日本フィランソロピー協会会員、東洋経済「CSRランキング」上位300社、金融企業 調査方法 :WEB入力式	95社

## Ⅱ. 社会貢献促進事業（公益目的事業２）

### １．研修事業

#### (1) 定例セミナー

年度の初めは新任の CSR 担当者も多いことから、今年度は４月より５回シリーズで、「サステナビリティ基礎講座 2024」を開講。全て対面での実施。

開催日	内 容	参加人数
第 418 回 2024 年 4 月 23 日	サステナビリティ基礎講座2024 第 1 回 「真のサステナビリティ経営とは何か～企業の果たすべき役割を考える～」 関 正雄さん(損害保険ジャパン株式会社 経営企画部シニアアドバイザー 社会構想大学院大学客員教授、放送大学客員教授)	38名
第 419 回 2024 年 5 月 8 日	サステナビリティ基礎講座2024 第2回 「ESG 開示に備える真の社内体制づくり ～社会の課題・要請に応える人材・事業を育てるために～」 川北 秀人さん(IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]代表者(CEO) ソシオ・マネジメント 編集発行人)	33 名
第 420 回 2024 年 5 月 23 日	サステナビリティ基礎講座2024 第3回 「企業に求められる「多様性」への対応について～障害者差別法改正を機に ～」 垣内 俊哉さん(株式会社ミライロ 代表取締役社長 一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会 代表理事 公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター 顧問 龍谷大学客員教授、立命館大学訪問教員、上智大学非常勤講師)	32 名
第 421 回 2024 年 6 月 11 日	サステナビリティ基礎講座2024 第4回 「注目されるネイチャーポジティブ経営とは～地域社会に依拠する生物多様性の 意味を考える～」 藤田 香さん(東北大学 グリーン未来創造機構 兼 大学院生命科学研究科 教授)	33 名
第 422 回 2024 年 6 月 24 日	サステナビリティ基礎講座2024 第5回 「公正な社会の実現にむけた企業の在り方を考える～」ビジネスと人権‘への取 り組み、そしてその先へ～」 若林 秀樹さん(THINK Lobby 所長 ビジネスと人権市民社会プラットフォーム 代表幹事 特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター(JANIC)理事)	34 名
第 423 回 2024 年 7 月 24 日	「企業の CSR・社会貢献としてのマッチングギフトについて～アンケート調査から の考察と導入企業事例に学ぶ～」 植木 久美さん(株式会社ブリヂストン 日本セグメント 社会貢献活動推進課) 羽藤 俊昭さん(丸紅株式会社広報部部長) 關根 裕子さん(同広報部 企画・ブランド推進課)	25 名
第 424 回 2024 年 9 月 30 日	「サステナビリティ経営におけるダイバーシティ雇用を考える」 村木 太郎さん (一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構理事長,社会福 祉法人南高愛隣会理事、一般社団法人若草プロジェクト理事、NPO 法人 就労継続支援 A 型事業所全国協議会理事、NPO 法人ストローク会理事) 芝 美和子さん (CTC ひなり株式会社 代表取締役社長 {伊藤忠テクノソ リューションズ株式会社の特例子会社})	24 名
第 425 回	「パリ・パラリンピック後のインクルーシブ社会づくりに向けて	16 名

2024 年 10 月 23 日	～当事者・アドバイザーの視点から企業との協働事例を語る～  上原 大祐さん（認定 NPO 法人 D-SHiPS32 代表理事、アイススレッジ ホッケープレイヤー、バンクーバー2010 パラリンピック銀メダリスト）	
第 426 回 2024 年 11 月 8 日	「ワイナリー×少年院の農福連携事業視察」  樋口 光平さん（茨城農芸学院長） 川口 孝太郎さん（牛久シャトー株式会社 代表取締役）	14 名
第 427 回 2024 年 12 月 6 日	「能登半島の現状と企業の支援事例を知り、これからの災害支援を考える」  上島 安裕さん（一般社団法人ピースボート災害支援センター 理事／事務局 長、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム 共同代表） 須崎 渉さん（サントリーホールディングス株式会社 CSR 推進部） 五十嵐 哲さん（大日本印刷株式会社コーポレートコミュニケーション本部ブラ ンド戦略室CSRグループ）	16 名
第 428 回 2025 年 1 月 22 日	「世代を超えた地域の居場所『こども食堂』で叶える次世代育成と地域貢献」  坂本純子さん（NPO 法人新座子育てネットワーク 代表理事） 竹内祐子さん（NPO 法人新座子育てネットワーク 事務局長） 堀池 俊介さん（キューピー株式会社・公益財団法人キューピーみらいたまご 財団 事務局長） 櫻井 絵巨さん（SOMPO ケア株式会社 地域包括ケア推進部企画課シニアリ ーダー）	20 名
第 429 回 2025 年 2 月 18 日	「思わぬ出会いが共感と生きるチカラを育む 子どもたちを孤立させない マン ガプロジェクト」  山辺 さおりさん（株式会社小学館集英社プロダクション パブリックサービス事 業部） 井村 良英さん（認定 NPO 法人育て上げネット 執行役員） 小泉 香織さん（アクセンチュア株式会社 成長戦略グループ コーポレート・シ チズンシップ） JPA より従業員参加推進・次世代支援プロジェクト「マンガ de エール！」の発表	13 名
第 430 回 2025 年 3 月 3 日	矢野経済研究所との共催による特別セミナー 「アフリカ市場の最新動向～日系企業が切り拓く社会貢献とビジネスの新地平 ～」  種谷 謙一さん（セントパーツ株式会社 代表取締役社長） 松本 基さん（ソフトバンク株式会社 テクノロジーユニット統括プロダクト技術本 部/ユビキタスネットワーク企画統括部 担当部長） 菊池 モアナさん（Borderless Tanzania Limited LUNA sanitary products 代表 取締役社長） 坂田 優さん（株式会社 LIXIL SATO 事業部 アジア地域リーダー） 芝田 勲さん（住友化学株式会社 サステナビリティ推進部 主席部員）	32 名

## (2)「ビジネスと人権」研究会

企業経営人向けにリベラルアーツとして「人権」に向き合い、対話を通して、ビジネスの果たす「人権問題解決」に向けての役割と可能性を改めて考える機会として全 7 回シリーズで開催。座長河野通和さん。

会場提供：アマタホールディングス株式会社

開催日	内 容	参加人数
第1回 2024年 10月17日	なぜサステナブル経営に「人権」の視点が重要か  若林 秀樹さん THINK Lobby 所長 ビジネスと人権市民社会プラットフォーム 代表幹事 特定非営利活動法人国際協力 NGO センター (JANIC) 理事	14名
第2回 2024年 10月31日	人権問題～事件、仕事、市民活動から学んだこと～  村木 厚子さん 社会福祉法人全国社会福祉協議会 会長	19名
第3回 2024年 11月13日	分断か共生か？ 日本の未来の分岐点 ～外国人労働者の受入れ・移民政策の課題から考える～  鈴木 江理子さん 国土館大学文学部教授	15名
第4回 2024年 11月28日	ジェンダーギャップはなぜなくなるのか  小島 慶子さん エッセイスト、メディアパーソナリティ 東京大学大学院情報学環客員研究員 昭和女子大学現代ビジネス研究所特別研究員	18名
第5回 2024年 12月19日	“うしろめたさ” から考える商いの倫理  松村 圭一郎さん 岡山大学文学部准教授	16名
第6回 2025年 1月16日	いのちの可能性を追求するウェルビーイング  稲葉 俊郎さん 医師・医学博士/慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント (SDM) 特任教授	16名
第7回 2025年 1月28日	共助社会と共感経済 ～アダム・スミスを起点として～  堂目 卓生さん 大阪大学総長補佐 社会ソリューションイニシアティブ長 大学院経済学研究科教授	15名

### (3) 業界別研修会

2022 年度より患者団体支援の可能性を探ることを目的とし、患者団体の実態ヒアリング、参加企業の情報共有・意見交換などを実施。本年度は第5回を開催。

開催日	内 容	参加人数
第5回 2025年 2月17日	「患者会支援として本当に望まれていることを考える」  榮島 佳子さん 一般社団法人みんなのレモネードの会 代表理事 亀山 晴生さん 同団体で活動する当事者の大学生 光原 ゆきさん 認定 NPO 法人キープ・ママ・スマイリング 理事長	23名 (8社)

## 2. 顕彰事業

### 企業フィランソロピー大賞

社会問題に真摯に向き合い、自社の経営資源を活かして、経営理念に沿った社会貢献活動や価値創造を実践する企業を顕彰することで、企業 CSR 経営の普及・啓発につなげる。

#### ◇第 22 回企業フィランソロピー大賞(2024 年度)

6 月 3 日(月) 公募開始  
9 月 2 日(月) 公募締切  
9 月 13 日(金) 第 1 次選考委員会(選考案件 22 件)  
10 月～12 月 8 社に対して訪問ヒアリングを実施  
12 月 20 日(金) 最終選考委員会  
2025 年  
2 月 28 日(金) 贈呈式 於:如水会館

<贈呈先>

#### ★企業フィランソロピー大賞

株式会社山陰合同銀行(島根県松江市)

#### ★企業フィランソロピー賞(企業名 50 音順)

「はばたけ! 地域照らす若者賞」 株式会社 AOI Pro. (東京都港区)  
「ふるさとの人づくり賞」 株式会社一ノ蔵 (宮城県大崎市)  
「いのち輝く夢の空間賞」 セイコーエプソン株式会社 (長野県諏訪市)  
「指で読む DE&I 賞」 株式会社毎日新聞社 (東京都千代田区)  
「思いつなぐ共生社会」 丸紅株式会社 (東京都千代田区)

<選考委員(敬称略)>

委員長 國部 克彦 (神戸大学大学院 経営学研究科長 経営学部長 )  
委員 井手 明子 (東北電力株式会社 住友商事株式会社 社外取締役)  
佐藤 雄二郎 (経済ジャーナリスト)  
渋谷 健 (シブサワ・アンド・カンパニー 代表取締役)

## 3. 個人寄付普及事業

(1) 企業の従業員および顧客参画寄付事業

【NPO 向け】

社 名	内 容
株式会社ファンケル	顧客のポイントを金額換算したものと、社員からの寄付を合算し、全国の重度心身障害者施設および視覚障害者施設／支援団体 11 団体に寄付金を配布。寄付総額 2,234,580 円。
株式会社ジェーシービー	「5」のつく日。JCB で復興支援の寄付事業について、事業の管理継続中。
株式会社ゆうちょ銀行	環境分野で住民と共に課題解決に向けた活動をする 13 団体に寄付金を配布。寄付総額 6,500,000 円。次年度寄付先団体の調査、 <u>選定</u> 。
大和ハウス工業株式会社 大和リビング株式会社 大和ハウス賃貸リフォーム株式会社	「多様な人が心豊かに生き、地域の魅力溢れるコミュニティづくり」をテーマに選定した寄付先 10 団体に寄付金を配布。寄付総額 21,000,000 円。次年度寄付先団体の調査、 <u>選定</u> 。
サントリーホールディングス株式会社	2024 年 1 月に実施した能登地震支援募金 7,296,805 万円を 4 団体に寄付。寄付先団体との従業員ボランティアを調整した。能登豪雨災害従業員募金を 10 月に実施。4,037,156 円を 4 団体に寄付。12 月たすけあい月間 725,600 円を 4 団体に寄付予定。
東京海上日動あんしん生命保険株式会社	社員の給与天引き、代理店でのグッズ販売の一部を難病患者支援団体、認知症啓発団体に 1,190,000 円寄付。寄付先は前年度より継続の 3 団体。
東京海上日動火災保険株式会社	従業員による募金制度、東京海上日動 Share Happiness 倶楽

	部の実施。9団体に 3,400,500 円寄付。
日本ロレアル株式会社	従業員による寄付を環境・女性分野の 2 団体に配布。寄付総額 553,620 円。加えて、企業から寄付先団体に、マッチングギフトとして寄付額に相当する自社商品を寄付。能登半島被災地における女性支援として、1 団体に寄付金を配布。寄付総額 3,600,000 円。
キッコーマン株式会社	能登半島地震災害、豪雨水害被害に対する支援 寄付期間:2024.12. 2～2025.1.31 従業員による寄付に、企業からのマッチングを行い寄付総額は 498,333 円となった。食支援に関する 1 団体に 4 月に配布予定。
「第一三共 思いをつなぐ次世代応援プロジェクト」 第一三共株式会社	今年度よりがん領域および難病の患者団体・患者支援団体を対象として、患者団体や支援団体の活動と次世代を担う人材の応援を通じて患者さんの QOL を上げることを目的に助成プログラムを開設。プログラム設計、公募・審査・報告を含む運営を支援。8 団体に 6,108,635 円を寄付。
「TOYOTIRE グループ環境保護金」 TOYO TIRE 株式会社	2017 年より環境基金の寄付を担当。環境問題に携わる団体を公募の上、選考し助成する。2024 年度は公募終了し、49 件の申請があった。審査の結果 11 団体を採択し、10,202,600 円を寄付。
「ブリヂストン BSmile 募金」 株式会社ブリヂストン	2020 年より事務局を担当している。ミッションステートメントに基づき団体への支援を実施予定。(1)環境 (2)安心・安全な mobility 社会 (3)地域社会(4)AHL(Active Healthy Lifestyle)と DE&I (5)人財育成・教育の 5 つのターゲット分野に助成する。2024 年度第 5 期は 44 件の申請があり、9 団体を採択し 7,953,400 円を寄付。今年度より相互扶助制度として従業員がかかわる地域活動支援としての支援もスタートした。全国各地 75 の活動に助成した。
個人	障害児を対象にした金銭教育を行なう団体への寄付金 930,000 円を配布。

## 【個人向け】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社/奨学金制度

〈給付〉

・6 月に、前年度までに給付が決定した奨学生約 200 名に 60,000,000 円を給付(年間 30 万円)

〈2025 年度奨学生募集〉

・応募資格:疾病により保護者を失った遺児で、経済的理由により支援を必要とし、高等学校等から大学等への進学希望者

・2025 年度 100 人からの申請があり、審査会を経て 60 名に内定通知した。(2025年2月)

## （２）個人の寄付推進事業

### 【誕生日寄付事業】

第6期となる今期は、ウェブサイトを刷新し、わかりやすく、寄付しやすい環境を整えた。前期に引き続き子どもたちの課題や寄付による成果などもしっかりお伝えし、共感の輪を広げて多くの方に誕生日寄付仲間になっていただけるようコミュニケーションも密にする。誕生日寄付×カターレ富山は第3期(2023 年 11 月 1 日～2024 年 10 月 31 日)は、138,648 円の寄付があった。協会の協力費を引いた 115,078 円を高岡市の 1 団体に寄付。第4期も継続中。



■実績(3月31日まで)

	期間	寄付金額	寄付者数
第6期	2024年4月1日～2025年3月31日	2,595,601円	124名

【誕生日特別セミナー】

「カッコいいお金のつかい方セミナー」

2025年3月27日(木)に株式会社さわかみホールディングスと共催で  
誕生日寄付特別セミナーを開催。

スピーカー ①認定NPO法人育て上げネット 執行役員 井村良英さん  
子ども・若者の現状と私たちが出来る事  
②株式会社さわかみホールディングス 代表取締役 澤上篤人さん  
長期投資×社会貢献(お金のつかい方)

参加人数:36名

【能登半島地震支援基金】

2024年1月1日に発生した能登半島地震への支援の輪を広げるため、基金を設立。2月13日からスタートした。会員3企業の賛同をいただきともに寄付を募った。これまでに基金は4,941,600円となり、第1弾として下記3団体に計1,330,000円を寄付した。諸経費を差し引いた残りの基金は9月の能登豪雨災害の支援活動も含め4団体に寄付予定。

第一弾 寄付先団体

- ・町野復興プロジェクト実行委員会(石川県輪島市)
- ・被災地NGO協働センター(兵庫県神戸市)
- ・学生団体わかものと(徳島県徳島市)

第二弾 寄付先団体

- ・フードバンク能登(石川県穴水町)
- ・社会福祉法人 佛子園(石川県白山市)
- ・認定NPO法人 日本セラピューティックケア協会(福岡県太宰府市)
- ・認定NPO法人 日本ハビタット協会(東京都千代田区)

#### 4. フィランソロピー社会基盤整備事業

##### (1) 個別企業社会貢献推進事業

##### A. 従業員ボランティア支援事業

①「ボランティアウェブ」利用企業 22社 ※2025年3月31日現在利用企業

社名	内容
アサヒグループジャパン株式会社	2022年1月より継続利用中。従業員ボランティアのポータルサイトとして、ボランティアウェブを活用し、事業所や部署のボランティア活動の報告機能を追加し、従業員のボランティア情報の集約している。
アストラゼネカ株式会社	2022年4月より継続利用中。従業員の51%のボランティア参加を目標とし、達成。2024年は55%の社員が参加。ボランティアマッチングも併用し従業員のボランティア参加の定着をはかる。
イオン株式会社	2022年8月より継続利用中。企業独自プログラム掲載をスタート。
オリンパス株式会社	2021年10月より利用中だったが2024年9月末をもって利用終了。
(新規)花王株式会社	2025年3月から試験使用を開始し、2025年度中に本稼働予定。

サントリーホールディングス株式会社	2017 年 3 月より、社内の「働き方改革」の一環で、「ボランティアウェブ」を継続利用中。
株式会社ジェーシービー	2011 年より、「JCB 社会貢献プログラム」のボランティア受付管理を「ボランティアウェブ」により継続利用中。企業独自プログラムを企画、提案。
株式会社ジャックス	2022 年 10 月より継続利用中。
ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ	2021 年 9 月より利用中だったが 2024 年 8 月末をもって利用終了。
住友金属鉱山株式会社	2024 年 7 月より活動開始。
セイコーエプソン株式会社	2023 年 12 月より継続利用中。
積水ハウス株式会社	2021 年 7 月より利用中だったが 2024 年 5 月末をもって終了。
ソニーグループ株式会社	2023 年 5 月より継続利用中。
第一三共株式会社	2021 年 4 月より利用継続中。今後全国各地でのボランティア活動推進をする。ボランティアポータルサイトとボランティアウェブの連携をし動員増を計画。
(新規)大和証券グループ本社	2024 年 11 月から利用開始。
(新規)豊田通商株式会社	2024 年 5 月より利用開始。
(新規)野村ホールディングス株式会社	2025 年 2 月から試験使用を開始し、2025 年度中に本稼働予定。
パナソニック ホールディングス株式会社	2020 年より活用し、2024 年 3 月 31 日で活用休止。
富士通グループ	2021 年 7 月より継続利用中。社内 SNS を活用して参加者の増加を図っている。
株式会社ブリヂストン	2021 年 5 月より利用継続中。BSmile 募金との連携を視野に活用している。
(新規)三菱重工業株式会社	2024 年 8 月から利用開始。
株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ	2019 年より三菱 UFJ フィナンシャル・グループ全体でボランティアウェブを活用中。企業独自プログラムを多数活用し、ボランティアウェブの社内認知を上げている。
ヤマハ株式会社	2023 年 3 月 1 日より継続利用中
株式会社 LIFULL	2024 年1月から利用再開。
(新規)リシュモンジャパン株式会社	2024 年4月より利用開始

② 個別コーディネート企業 9 社

社 名	内 容
アクセンチュア株式会社	さまざまなテーマでの講演会企画やボランティア活動を提案。毎月 1～2 回のペースで行われるイベントの企画・運営をサポート。4 月から 3 月までに 11 プログラムを開催。
大日本印刷株式会社	能登半島地震へのボランティア派遣の企画・運営。7 月 12-13 日に七尾市で活動。第 2 弾として 11 月 30 日-12 月 1 日に七尾市および輪島市で活動。
(新規)大和証券グループ	従業員組合向けボランティアコーディネート。1 回に 15 名～30 名程度の参加者で、会議室ボランティア、屋外ボランティア、能登地震ボランティアを紹介。そのほか、ボランティアコーディネートに関する相談対応。
アストラゼネカ株式会社	営業会議で集合した社員が大会議室で行なうボランティアの調整。
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	8 月～11 月の間に実施するボランティアプログラム 6 種類合計 15 回の企画と運営のサポート。
みずほ銀行グローバルコーポレートインベストメントバンキング部門	9 月 13 日実施。国際保健協力市民の会シェアとの協働で軍手ぬいぐるみづくりを実施。部門メンバー 60 名が参加。

インスメッド合同会社	Global Day of Good のボランティアプログラムの提案。
サノフィ株式会社	全国の社員と東京本社ハイブリッドで 11 月に 3 回に分けて行なうボランティアプログラムの開催を調整。
オーシャン・ネットワーク・エクスプレス・ジャパン株式会社	今回で 3 年目となる従業員ボランティア活動を 1 月 27 日に実施。病気の子どもたちへの人形作りに 21 名が参加。

#### B. 助成支援事業 3 社

プログラム名・社名	内 容
「SDGs 貢献プロジェクト」 日本たばこ産業株式会社	格差是正・災害分野・環境保全の分野で活動をする団体の事業に助成をする SDGs 貢献プロジェクトの外部事務局として運営事務を行う。
「田辺三菱製薬手のひらパートナープログラム」 田辺三菱製薬株式会社	2012 年度より難病の患者、家族の生活の質の向上を目的にした助成プログラムの設計・公募・審査を含む運営を支援。10 月 1 日より公募開始。9 月 27 日（大阪）、10 月 2 日（東京）にて前年度助成団体の事業報告会を開催。2024 年度の応募は 38 件。14 団体を採択。
「サンライズ財団環境助成金」 「未来につなぐ糸助成金（繊維）」 一般財団法人サンライズ財団	環境保全、および繊維（シルク）産業の分野で活動をする団体・法人の事業に助成をする助成金プログラムの外部事務局として運営事務を行う。

#### C. 社会貢献活動支援事業 8 社

プログラム名・社名	内 容
「森里海つなぐプロジェクト」 東京ガス株式会社	2017 年度から開始した、森、里山、海をつなぐ環境社会貢献活動の支援。2024 年度も継続実施。海の活動として 6 月 9 日（日）横浜にてアマモ花枝採取イベント、11 月 10 日アマモの種まき、12 月 7 日、2025 年 2 月 22 日は横浜にてワカメ栽培ワークショップのサポートを行った。里の活動として 2025 年 2 月 15 日に清瀬市で雑木林での体験活動、2 月 16 日に上尾市でかいぼり作業の運営サポートを行った
サントリー チャレンジド・スポーツ アスリート奨励金 サントリーホールディングス株式会社	地域におけるチャレンジド・スポーツ（パラスポーツ）の普及拡大・環境整備を目的として、各都道府県、政令指定都市の障がい者スポーツ協会から推薦を受けたチャレンジド・スポーツの未来を担う若手アスリートと各協会・競技団体等に対して奨励金を給付する。第 3 期としてアスリート 76 名と、障がい者スポーツ協会または競技団体 20 団体を採択し、総額 2,850 万円を支給した。2025 年 1 月 22 日（水）サントリーグローバル本社（お台場）にて記者発表が行われ高橋理事長が登壇した。
「海を守る活動（アマモ場の保全再生活動）」 東京海上日動火災保険株式会社	東京湾（横浜）、福岡県、大阪府でアマモ場の保全・再生活動を行う。各地で特定非営利活動法人と連携し、各地の従業員を巻き込み活動を行う。2024 年は新規に兵庫県を会場に加える。6 月 1 日（土）福岡市、6 月 8 日（土）横浜市、6 月 9 日（日）阪南市にてアマモ花枝採取イベント開催。11 月 10 日（土）神戸市、阪南市で 12 月 7 日（土）福岡市、横浜市にてアマモの植栽イベントサポートを行った。
Leadership Training Program アステラス製薬株式会社	患者会次世代リーダー育成のための L T P 研修。患者会の安定的・持続的な組織づくりを可能にする人材育成を目的とした研修会の企画・開発・運営協力を行った。14 団体 21 名が参加 【第 1 回】2024 年 9 月 8 日（日）／対面&オンライン 山本ベバリーアン先生、宮地勘司さん 患者会・患者活動の意義を考える & ワークショップ 【第 2 回】2023 年 9 月 12 日（水）／オンライン 田中康之さん 多様なメンバーをまとめるコミュニケーションスキル

	<p>【第3回】2023年9月26日（水）／オンライン 河合将生さん NPO組織論①活動の意義を学ぶ（全体会）</p> <p>【第4回】2023年10月8日（金）／オンライン 河合将生さん NPO組織論②活動の具体を学ぶ（分科会）</p> <p>【第5回】2025年2月15日（土）／対面&amp;オンライン 成果報告会、講師からのフィードバック</p>
日本生命保険相互会社 プロボノ活動支援	<p>日本生命のプロボノ活動のサポート。2022年度、2023年度につづき、2024年もサステナビリティ経営推進部と人材開発部の共同事業として2チームが稼働。JPAにてNPO団体とのマッチングを実施。支援団体は以下の2団体。</p> <p>① 社会福祉法人カリヨンこどもセンター</p> <p>② 認定NPO法人キッズ・ママ・スマイリング</p> <p>10月30日オリエンテーションから2月28日の最終共有会まで各チームのプロボノ活動に並走。</p>
住友商事株式会社 「100SEED」エントリー企画 参加型オンラインセミナー	<p>住友商事の社員参加型社会貢献プログラム「100SEED」活動のサポート。100SEEDの従来の施策に加え、エントリー層拡大施策として今年度から参加型オンラインセミナーを実施。セミナーに参加するだけではなく、事後アンケートでのアイデアやアクションの回答をもって「参加型」とする。その企画運営を担当。</p> <p>【第一弾】2024年7月26日（金） 講師 NPO法人 Silent Voice 代表 尾中友哉氏 セミナー参加者 52名超（録画閲覧者は把握できず）</p> <p>【第二弾】2024年10月30日（水） 講師 認定NPO法人むすびえ理事 渋谷雅人氏 セミナー申し込み 194名</p>
PGF 生命保険株式会社 「SDGs プログラム」	<p>“未来を担う子どもたち”をテーマに、子どもたちの貧困問題の本質的な解決に取り組む「認定 NPO 法人 Learning for All」と、遠方の自宅を離れ、都内の専門病院で治療を受ける子どもたちとその家族のための滞在施設を運営する「認定 NPO 法人ファミリーハウス」の2団体への寄付を行った。</p> <p>また、中学校や高校で金融ケイパビリティ教育を行う「PGF オープンアカデミー」を東京都立赤羽北桜高校にて実施した。</p>
「プロロジス就活応援奨学金」 株式会社プロロジス	<p>児童養護施設から進学し、就職を目指す学生が経済的な不安を少しでも軽減した上で就職活動に取り組んでいただけるよう、返済不要の奨学金で支援するもの。実施にあたり企画、募集告知、申請者選考、奨学生同士の交流会実施に向けたサポートを行った。</p>

#### D. 物品寄贈「あげます・もらいます」事業 9 件

企業	寄贈品
日鉄興和不動産株式会社	文具品、ファイル
富士通株式会社	防災備蓄品（非常用飲料水、毛布など）、ファイル
株式会社トランスロン	事務用品、災害対策用備蓄食品
三菱地所株式会社	テレホンカード
一般社団法人ゼブラ社会貢献支援協会	マーカー、ボールペン、シャーペン、マーカー
株式会社 J-オイルミルズ	自社商品
株式会社 JT ビジネスコム	発電機

株式会社電通	タープテント、防災備蓄品
三菱重工業株式会社	保存食セット

## (2) 被災地復興支援事業

### A. サントリー・チャレンジド・アスリート

#### 第6期「チャレンジド・アスリート奨励金」

2020年末で終了予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため奨励金の活用期間を2021年末までと延長した。それによる受給団体・個人へのフォローを実施。2021年もコロナ禍で活動のできない受給団体・個人からの要請があり、活用期間を延長し実施中。

### B. みらいチャレンジプログラム

サントリーグループの東日本大震災復興支援「サントリー東北サンさんプロジェクト」の一環として、2021年2月より新規スタート。岩手県、宮城県、福島県の地域の復興を目指して新たな活動を立ち上げようという個人・団体の活動を奨励金という形で支援する。2024年6月で期間終了。3年間で110件の事業に奨励金総額31,706,071円を給付した。

### C. シン・みらいチャレンジプログラム

みらいチャレンジプログラムの後継プログラムとして2023年11月1日からスタートした。地域の活動がより根付くように助成期間の上限を最大3年間（2024年4月～2027年3月）とし、各年100万円を上限とし、3年間で300万円まで申請が可能。3年間で総額1億円の助成総額の予定。中期的な活動のサポートを行う。3県合計108件の申請があり、37件採択した。12月15日（日）に3県合同の活動報告会および交流会を宮城県仙台市で開催した。3件から25団体が参加し、代表して6団体から進捗報告が行われた。高橋理事長も審査委員の一人として出席、発表への講評を行った。

## (3) 農福連携事業（休眠預金活用事業）

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が公募する「休眠預金等活用法に基づく資金分配団体」の2023年度通常枠として実施。株式会社農協観光とコンソーシアムを組み、障がい者、ひきこもり等の就労困難者の就労支援を目的とし、地域全体での農福連携が推進され、自立的に発展していくことを目指す。2024年4月から5月にかけて採択団体と契約を締結し、事業を開始。9月5-6日に都内で実行団体の各事業責任者・推進者を対象とした「農福推進リーダー研修」を開催し、18名が参加した。2月7日に実行団体同士の情報交流を目的とした、進捗課題共有会議をオンラインで開催。2月19-20日は先進事例視察として、高知県安芸市にある「一般社団法人こうち絆ファーム」ほか活動を視察し、17名が参加。伴走支援として適宜各実行団体との打ち合わせ・ヒアリング・現地訪問を実施している。

社会福祉法人月山福祉会	無料職業紹介所・あぐりランドを開設して、農業者と無業者のマッチングを推進。1月31日に庄内地区をターゲットとした研修会を開催し150名強が参加。
埼玉福興株式会社	グレイゾーンの相談などを受け付けるためのカフェテリアの設置を進めている。11月27日に埼玉ノウフクコンソーシアムを立ち上げ。
社会福祉法人土穂会	ひきこもり等の訓練のための「はじめての一步農場」の設置を推進。2025年6月頃に農場は完成予定。
社会福祉法人佛子園	サツマイモの植え付け収穫を行ない、加工品としての販売を目指す。初年度は害虫や保管温度での課題があり目標値を大きく下回り軌道修正中。
特定非営利活動法人大志	新規就農者等が共同で利用できる作業場づくりを推進。自治体、社会福祉協議会、福祉法人等と協働し、地域の支援者が活躍できる場の拡大を進めている。
一般社団法人クロスオーバー	コーディネートに徹し、福祉事業者と農業者のマッチングを推進。11/30-12/1には軽井沢でマルシェを主催した。

一般社団法人 SPS ラボ若年認知症サポートセンターきずなや	共同加工場づくりを推進。大和橋がすぐに売り切れとなったため、収穫量を増やすための工夫や、一次加工しての販売を模索中。
社会福祉法人宗越福祉会	8月8日に農福コンソーシアムひろしまを立ち上げ。1月16日に広島県・竹原市・三原市・東広島市と協定を締結。これまで縦割りで対応が難しかった複合的な課題解決を推進。八天堂ファームのブランド力を生かした新商品開発も進展、販売開始にこぎつけている。

### Ⅲ. 共生社会創造事業（公益目的事業3）

#### 1. 共生社会づくり推進事業

##### (1) フィランソロピー名刺事業

フィランソロピー普及と障がい者の経済的自立のための名刺制作事業。

1件:100枚

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
制作件数	115	164	201	224	213

##### (2) 久里浜少年院 社会貢献活動

全在院生 51 名が鉢植え蘭を1人1鉢、単独室で開花するまで育て、地域の NPO 等に寄付する取組み。

協力: 有限会社椎名洋ラン園

2024 年 10 月 7 日(月)…導入指導

2025 年 1 月 20 日(月)…贈呈式(寄贈先 13 団体)

#### 2. 次世代育成事業

中高生によるチャリティームービープロジェクト 2023（公益財団法人 JKA 補助事業）

中高生が、NPO の活動を学びながら、その活動の大切さや意義を伝える動画を制作する。動画を見た人に寄付を呼びかけ、寄付を NPO に届けるプロジェクトとして、「中高生によるチャリティームービープロジェクト 2023」を 2024 年 3 月まで実施した。集まった寄付金を下記の団体へ届けた。

・NPO法人まなびのたねネットワーク(宮城県仙台市)	104,286円
・認定NPO法人底上げ(宮城県気仙沼市)	31,286円
・一般社団法人ハビリスジャパン(東京都港区)	201,286円
・認定NPO法人スマイルオブキッズ(神奈川県横浜市)	81,780円
・認定NPO法人プール・ボランティア(大阪府大阪市)	320,286円
・NPO法人IKUNO・多文化ふらっと(大阪府大阪市)	66,286円
・NPO法人いるか(福岡県福岡市)	43,116円

## <法人管理>

### IV. 会員 他

#### 1. 会員の推移

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
① 法人正会員	18	19	22	18
② 法人賛助会員	106	114	109	118
法人会員合計	124	133	131	136
③ 個人賛助会員	78	83	84	93

#### 2. 会員の入退会(種別変更含む)

会員種別	入会及び種別変更	退会及び種別変更
正会員		① キリンホールディングス (種別変更) ② ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ (種別変更) ③ 大阪商工信用金庫 (種別変更) ④ 大和ハウス工業株式会 (種別変更)
賛助会員	① キリンホールディングス (種別変更) ② ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ (種別変更) ③ 大阪商工信用金庫 (種別変更) ④ 大和ハウス工業株式会 (種別変更) ⑤ 東洋紡株式会社 ⑥ 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 ⑦ サノフィ株式会社 ⑧ 住商メタルワン鋼管株式会社 ⑨ 関西電力株式会社 ⑩ TOTO 株式会社 ⑪ 野村ホールディングス株式会社 ⑫ いすゞ自動車株式会社 ⑬ NS ユナイテッド海運株式会社	① 大阪ガスネットワーク ② オリンパス株式会社 ③ 伊藤忠商事株式会社 ④ 株式会社 ID ホールディングス

#### 3. 「2023 年度 ANNUAL REPORT」作成

2024 年 8 月 1 日に発行し、会員企業などに発送

2024 年度 (令和 6 年度) 事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属証明書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2025 年 (令和 7 年) 5 月  
公益社団法人日本フィランソロピー協会